

3. 事業実施計画書

平成 26 年度 展覧会案

	第 1 展示室・第 2 展示室	歴史資料展示室
4 月	「片岡家所蔵浮世絵展」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「物語と昔がたり」
5 月		
6 月		
7 月	展示替期間	
8 月	「具体の国際性」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「徳本上人の軌跡」
9 月		
10 月	アートピクニック 「現代美術の展覧会」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「新たな発掘成果」
11 月		
12 月		
1 月	展示替期間	
2 月	コレクション展 「考古学による発掘成果」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「昔の暮らし展」
3 月		
3 月	展示替期間	
3 月	「造形教育展」	

【展覧会詳細について(抜粋)】

◆「片岡家所蔵浮世絵展」

24 年度に開催し、好評を得た『世界を魅了した「青」浮世絵名品展』の続編として、今回は浮世絵の画題となる江戸時代の人々の風俗に着目し、新たな切り口で展示を行います。

◆「具体の国際性」

結成より活動における国際性を重要視していた「具体」を、その“国際性”という視点で再考し、海外の読者向けに発行された「具体」誌や海外作家の作品を展示します。

◆アートピクニック「現代美術の展覧会」

今期は、23 年度より行っている「ピクニック展」シリーズの「アウトサイダーアート」という枠に捉われず「美術で豊かな生活を感じる展覧会」として継続します。

◆コレクション展「考古学による発掘成果」

芦屋市内に点在する各遺跡の最新の発掘成果、その歴史的、地理的な位置づけについて芦屋市の学芸員の方と連携し、考察を加えて公開します。



【「考古学による発掘成果」
「鶏形埴輪」

※古墳時代金津山古墳出土 当館蔵】

【歴史資料展示室の展示について】

26 年度～30 年度に関しては「芦屋の歴史と文化財」をテーマに当館所蔵品を中心とした展示を行います。

◆「物語と昔がたり」

芦屋にまつわる物語文学である伊勢物語、昔話に関する歴史資料を展示します。

◆「徳本上人の軌跡」

江戸時代の浄土真宗僧侶、徳本上人に関する資料を展示します。

◆「新たな発掘成果」

本年の考古学による発掘成果の出土品を展示します。(次年度以降同じ)

3. 事業実施計画書

平成 27 年度 展覧会案

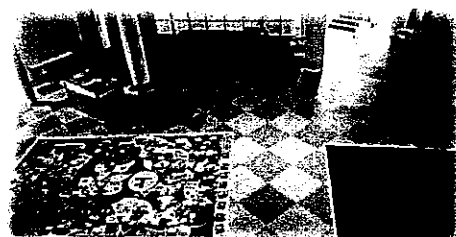
	第 1 展示室・第 2 展示室	歴史資料展示室
4 月	「芦屋市展」	—芦屋の歴史と文化財— 「芦屋と女性」
5 月		
6 月		
	展示替期間	
7 月	「こどもと学年誌」	—芦屋の歴史と文化財— 「美人画」
8 月		
9 月		
	展示替期間	
10 月	「阪神間洋画壇(近代)」	—芦屋の歴史と文化財— 「新たな発掘成果」
11 月		
12 月		
	展示替期間	
1 月	「前衛陶芸」	—芦屋の歴史と文化財— 「昔の暮らし展」
2 月		
3 月	「造形教育展」	

【展覧会詳細について(抜粋)】

◆こどもと学年誌

1 期目は小学生向けの学年誌を展示したので、今回は未就学児向けの雑誌、絵本をメインに展示します。

また、戦前・戦中・戦後の時代背景と学年誌に見る児童教育の関係を考察します。



【平成 25 年度

「学習雑誌にみるこどもの歴史」展示風景】

◆阪神間洋画壇物語

“近代”と“現代”の 2 部に分け、神戸、芦屋、西宮、尼崎といった阪神間の洋画壇の動向を紹介しながら、芦屋文化の再考察を図ります。(27 年度は“近代”、28 年度は“現代”の予定)

◆前衛陶芸

具体をはじめとする関西の前衛美術家たちと繋がりが深い「四耕会」、「走泥社」などの前衛陶芸の動向を探ります。

【歴史資料展示室の展示について】

◆「芦屋と女性」

芦屋の女性の暮らしをうかがうことのできる歴史資料を展示します。

◆「美人画」

当館寄託の片岡家所蔵浮世絵のうち、美人画を中心に展示します。

3. 事業実施計画書

平成 28 年度 展覧会案

	第 1 展示室・第 2 展示室	歴史資料展示室
4 月	コレクション展 「タイトル未定」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「芦屋におはします ほとけさま 1」
5 月		
6 月		
展示替期間		
7 月	「芦屋の歴史」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「芦屋におはします ほとけさま 2」
8 月		
9 月		
展示替期間		
10 月	「デモクラート美術家協会展」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「新たな発掘成果」
11 月		
展示替期間		
12 月	「アートピクニック」 もしくは 「阪神間洋画壇物語(現代)」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「昔の暮らし展」
1 月		
2 月		
3 月		

【展覧会詳細について(抜粋)】

◆ 芦屋の歴史

古代から現代に至るまでの芦屋の歴史を、貴重な絵画、文献等の資料をもとに紹介します。

◆ デモクラート美術家協会展

既成の公募展への出品、会友などの階級制度を拒否し、完全なデモクラート(民主主義者)としての活動を目指した同協会について特集します。

【歴史資料展示室の展示について】

◆ 「みほとけのかたち～入門編～」

芦屋に存在する仏教寺院と仏教の基本知識について資料を交えながら紹介します。

◆ 「みほとけのかたち～応用編～」

「応用編」として、前回より一歩踏み込んだ芦屋の仏教に関する歴史資料を展示します。



【「芦屋の歴史」】
“伊勢物語歌カルタ”
※江戸時代 当館蔵

3. 事業実施計画書

平成 29 年度 展覧会案

	第1展示室・第2展示室	歴史資料展示室
4月	「芦屋市展」	—芦屋の歴史と文化財— 「大絵馬展」
5月		
6月		
	展示替期間	
7月	「アートピクニック」、「会ヴァリエテ」、 「仏教美術」のいずれか	—芦屋の歴史と文化財— 「写された芦屋」
8月		
9月		
	展示替期間	
10月	巡回展、小学館発行のマンガ関連、 日本画 等	—芦屋の歴史と文化財— 「新たな発掘成果」
11月		
12月		
	展示替期間	
1月	「アートピクニック」、「会ヴァリエテ」、 「仏教美術」のいずれか	—芦屋の歴史と文化財— 「昔の暮らし展」
2月		
3月		
	展示替期間	
	「造形教育展」	

【展覧会詳細について(抜粋)】

◆会ヴァリエテ

会派を超え、自由な討論を行う研究会「会ヴァリエテ」の活動を紹介します。

◆新しいジャンルの展覧会

これまで取り上げたことのない新しいジャンル、テーマで注目度の高い展覧会を開催します。

現時点での候補としては、他美術館より知名度のある作家の作品を借りて行う巡回展、代表企業の関連会社である小学館発行の著名な漫画の作品展等を検討しております。

【歴史資料展示室の展示について】

◆「大絵馬展」

当館所蔵の芦屋市の神社に伝来した絵馬を展示します。

◆「写された芦屋」

大正から昭和、そして平成へと写真に写された芦屋の町並みをパネルで展示します。

3. 事業実施計画書

平成 30 年度 展覧会案

	第 1 展示室・第 2 展示室	歴史資料展示室	
4 月	「いけばなと前衛芸術の関わり」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「芦屋の建築」	
5 月			
6 月			展示替期間
7 月	「アートピクニック」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「描かれた芦屋」	
8 月			
9 月			展示替期間
10 月	「宗教美術(神道の美術)」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「新たな発掘成果」	
11 月			
12 月			展示替期間
1 月	「具体の野外性」	— 芦屋の歴史と文化財 — 「昔の暮らし展」	
2 月			展示替期間
3 月			「造形教育展」

【展覧会詳細について(抜粋)】

◆いけばなと前衛芸術の関わり

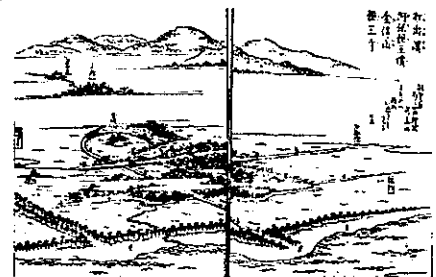
かつて陶芸界や絵画界との交流が盛んであった「いけばな」と芸術の交流を切り口に、戦後の美術の諸相を解明します。

◆宗教美術

これまで公開されることのなかった市内に点在する浄土真宗寺院の寺宝を展覧し、浄土真宗の中核寺院である大坂の石山本願寺との関係について考えます。

◆具体の野外性

芦屋公園での野外展、武庫川での廃墟展など美術館や展覧会場を飛び出して、野外で独創性豊かな「展覧会」を行った具体の活動を特集します。



【「宗教美術」
“摂津名所図会”

※寛政8(1796)～10(1798)年 当館蔵】

【歴史資料展示室の展示について】

◆「芦屋の建築」

仏教開館や、ヨドコウ迎賓館など芦屋に存在する建築に関する歴史資料を展示します。

◆「描かれた芦屋」

芦屋の町並みが描かれた絵画を展示します。

3. 事業実施計画書

平成 26 年度 教育普及事業 年間計画(案)

	体験・学習・創作活動	子ども向け企画	地域連携・その他
4 月	・「片岡家所蔵浮世絵」展 ギャラリートーク ・水彩画教室	・出前授業 「浮世絵に見る江戸時代の 人々の暮らし」	・アートバザール
5 月	・古文書講座	・ハーモニカ講座	
6 月	・絵手紙講座		
7 月	・「具体の国際性」展 ギャラリートーク／オープニ ングコンサート 等		・七夕関連イベント
8 月	・アクセサリー作り	(夏休み宿題対策) ・芦屋の風景を描こう ・科学講座 等	・夏祭り
9 月	・「現代美術の展覧会」ギャラ リートーク／制作現場巡り 等		・お月見会
10 月	・ミュージアムコンサート	・出前授業 「『現代美術』ってなんだろう」	・アートバザール
11 月	・秋の芦屋を撮ろう	・子どもの哲学アトリエ	
12 月	・「考古学による発掘成果」ギ ャリートーク／遺跡巡り等	・クリスマスカード製作 ・クリスマスソングを歌おう	・アートキャンドル ナイト
1 月	・古文書講座	・書初め大会	
2 月		・紙芝居作り	
3 月	・芦屋の街歩き	・けん玉講座	

※平成 27 年度以降については、概要を別途「芦屋市立美術博物館 年度別事業計画書」に記述します。

3. 事業実施計画書

【平成 26 年度 講演会・講習会 年間計画案】

・片岡家所蔵浮世絵 ・物語と昔がたり	「江戸時代の風俗 について」	講演会	当館学芸員による講演会。
	「浮世絵講座」	講習会	当館学芸員による講座。
・具体の国際性 ・徳本上人の軌跡	「海外の人々と 具体の交流について」	講演会	具体美術協会元会員の方をお招きし、海外の人々と具体の交流についてお話していただく。
	「子どもから大人まで 楽しめる“具体”」	ワーク ショップ	具体美術協会元会員の方による、年代を問わず楽しめる“具体”のワークショップ。
・アートピクニック 現代美術の展覧会 ・新たな発掘成果	「映像の表現について」	講演会	作家の方や学識者による「映像表現」についての講演。
	「音の表現について」	講演会	作家の方や学識者による「音の表現」についての講演。
	「映像制作」	ワーク ショップ	作家の方を講師に、ひとつの映像を参加者全員で作り上げ、出来上がった作品は当館で上映する。
	「作家による対談」	トーク ショー	出品作家の方達によるトークショー。制作の過程や苦労話を聞く。
・コレクション展 考古学による 発掘成果 ・造形教育展 ・昔の暮らし	「芦屋の発掘状況について」	解説会	芦屋市の最新の発掘成果を芦屋市教育委員会学芸員の方に講義いただく。
	「考古学講座」	講習会	古代日本史の中の畿内における「芦屋」の位置づけについて講義する。
	「昔の暮らしを体験しよう」	講習会	ご年配のボランティアの方にご協力いただき、昔の生活道具の使い方等を教えていただく。

※平成 27 年度以降については、概要を別途「芦屋市立美術博物館 年度別事業計画書」に記述します。

